



コロナウィルスと会員増強

東日本区会員増強主任 札 埜 慶 一

ワイズメンクラブ会員の皆様には「コロナウィルス COVID-19」パンデミックの中、会員増強に力を注いでいただき誠にありがとうございます。特に「熱海クラブ」、「甲府21クラブ」には多数の会員増強をしていただき頭の下がる思いです。

「コロナウィルスCOVID-19」による世界的な経済、金融市場の混乱により、投資家が株式や債券など価格変動リスクのある金融資産を投げ売りしているように見える。中でも特にワイズメンが5000人以上もいる韓国からすごい勢いで資金が流出しアジア市場では韓国ウォンの下落、売り圧力が突出している。世界的に見ても韓国の株価下落はとて大きい。投資家が韓国から資金を引き上げているのがよく分かる。この背景には、「コロナウィルスCOVID-19」の収束の目処がつかないことも1つの要因だろう。元はと言えば韓国が中国を重視して、入国制限などの初動動作が遅れたからだろう。これは日本も同じである。明日は我が身になるかもしれないが、このまま経済活動が低下していけば、怖いことだが、食料不足などである一線を越えた時、暴動が各地で起き、最悪の場合は内戦状態になる可能性さえも考えられる。そしてワイズ会員も激減する。

4/2 現在日本の感染者は2,543人、亡くなった方は71人、世界での感染者数は938,373人、亡くなった方は、47,273人。収まる気配はない。

我々ワイズ会員は高齢化が進み、さらに疾患持ちは、「コロナウィルスCOVID-19」に感染した場合の死亡率は70%を超える。こんな状態では政府の指針に従いお互いの安全のために

会議、例会などは中止もしくはSkype、Line、ZOOM等のオンライン会議に変えていく必要がある。Skype50人、ZOOM100人までの無料会議が可能です。ワイズの組織では感染してもだれも責任は取れないから自己防衛するしか無い。

「志村けん」さんも亡くなったので(汗)個人的にはとてもショックです。自粛しているのか熱海駅前ほとんど人が歩いていないのも気がかりです。

こんな世界情勢の中で、2020年6月までに会員増強を100人以上行わなくてはならない東日本区ワイズメンズクラブも初動動作に遅れ非常事態に突入したと言えるだろう。10年も経てばほとんどのワイズ会員が大霊界で例会を行っている。

できればワイズも「コロナウィルス」のようにしぶとく増殖したいものです。

Facebook広告ですが、Change!2022の委員さんたちに広告のための素材を提供してくれと数回要請しているのだが宇都宮クラブ以外は提出がなく、素材不足や広告の成果保証は無いので東日本区広告を止めている。(宇都宮クラブのみFacebook 4/2 広告開始)できれば、現在Facebookに掲載しているクラブ各位には、「動画」又は「スライドショー写真」と「その声明文(簡単なもの)」を5種類と「管理者権限」をいただければ各クラブ別に広告し、広告効果が各クラブ別に皆様に見えるようにするのでご協力をお願いします。

詳しくは札埜までお問い合わせください。

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



第10回 役員会報告

日時 令和2年4月2日(木) 午後7時30分より
会場 ワイズ事務所
司会 A副会長 野田 進

■会長挨拶 会長 深澤 勇弘

■報告事項

- 1. 4月の予定.....報告
- 2. 次期予定の件.....報告
- 3. 手作りマスクの件.....報告
- 4. 東日本区大会の件.....報告
- 5. 各委員会報告.....報告

■議題 議長/会長 深澤 勇弘

- 1. 4月例会中止の件.....承認
- 2. 家族親睦タケノコ狩り中止の件.....承認
- 3. 親睦旅行決算の件.....承認
- 4. 新入会員入会の件.....承認
- 5. YY談義延期の件.....承認
- 6. その他

※次回役員会 5月8日(金)

■閉会の辞 A副会長 野田 進

新入会員紹介



岩瀬 勝也

岩瀬勝也です。

私は熱海で生まれ、熱海市に今日まで約40年住んでおります。そしてご縁もあり、先日皆様の仲間として入会させて頂きました。

まだまだ未熟なものです、これから少しずつでも会長はじめ、皆様と一緒にボランティア活動、青少年育成事業など様々な活動に参加し、自分自身も成長していきたいと思しますので宜しくお願いします。

〈岩瀬君のプロフィールを紹介します〉

1977年10月7日生まれ43歳
岩瀬表具店を経営
紹介者は深澤会長です。

CHARTERED.DEC.15.1963

発行責任者/深澤 勇弘
編集長/大川 貴久
副編集長/札埜 慶一
編集委員/栗本治郎・草柳義則・越村 修

強調月間

LT

チャレンジ!
Challenge!

熱海クラブ会長主題

伝統の継承と
時代に合ったクラブの見直し

国際会長主題

Jennifer Jones
(オーストラリア)

Building today
for a better tomorrow
「より良い明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長主題

田中 博之
(東京多摩みなみ)

Action!
「アクション!」

東日本区理事主題

山田 敏明
(北海道部・十勝クラブ)

Innovation with courage,
action with heart!
「勇気ある変革、愛ある行動!」

富士山部長主題

長田 俊児
(下田クラブ)

“Let's walk together
with wonderful Y's Men”
「共に歩もう、素晴らしきワイズ」

3月例会報告

在籍者	48名
療養会員	0名
広義会員	1名
出席者	41名
ビジター	0名
ゲスト	2名
メネット	1名
インビテーション	0名
出席率	87.2%
計	44名

スマイル

3月	60,000円
累計	663,000円

2月メーキャップ

4名

2月訂正出席率

93.3%

YMCA基金

2月	2,434円
累計	20,992円

BF基金3月

切手	0kg
累計	0kg
現金	35,000円
累計	410,000円

- 9日 * 後藤 軍治 君
- 11日 * 小松 巖 君
- 14日 * 渥美 雄一郎 君
- 17日 * 杉山 伸也 君
- 18日 * 内藤 一郎 君
- 28日 * 渡辺 英和 君

Happy
Birthday



- 10日 * 谷 未 来さん
- 27日 * 矢崎 洋子さん
- 30日 * 山崎 花子さん

Happy Wedding Anniversary

- 10日 * 鈴木 夫妻 (道夫)
- 26日 * 岡田 夫妻





手作りマスク作製

村上 達也

3月21日ワイズ事務所にて手作りマスクの作製を行いました。田中Y'sが放課後児童クラブのマスク不足の窮状を知り支援員や子供たちの為に手作りマスクの発案を頂きました。国内においてはマスク作りにかけて第一人者である田中Y's講師の下、メンバー・メネット・コメット総勢15名にて265枚のマスクを手作りしました。最初は作り方を確認しながら行っておりましたが徐々に慣れ皆さん熟練職人の様な作業風景でした。作業中に耳に掛けるゴムが不足し買い出しに出ましたが手作りマスクを行う方が多く品切れになっているお店が多かったのですが、幸運にも手芸店「まるやま」さんに在庫があり当クラブの趣旨をお伝えしました処、在庫の大部分を快く分けて頂き完成させる事が出来ました。今回の手作りマスクですがメネットの方々のお力無くしては数多く作る事が困難だったと思います。ご参加頂きましたメネットの皆様方、本当に有難う御座いました。



手作りマスク寄贈

3月27日熱海市長表敬訪問の上、作製したマスクを熱海市に寄贈致しました。寄贈式の際、深澤会長から「青少年健全育成を行っている団体であり体を使ったボランティアが信条。子供たちの為に必要であるなら又、マスク作りに取り組みたい。子供たちの為に役立て欲しい」旨の挨拶をされ熱海市長にマスクを手渡して参りました。マスクは市社会福祉課子育て支援室が利用学童、支援員数等に依りて配布される事になりました。マスク作りに参加頂きました深澤会長はじめメンバー・メネット・コメットの皆様お忙しい中、本当に有難う御座いました。

第23回 東日本区大会の中止について

東日本区理事 山田 敏明

北海道もほとんど雪が無くなり、春の訪れがやってきました。東日本区の会員の皆様に対しましては、今年度も精力的にワイズダム発展の為に推進されています事を感謝申し上げます。皆様もご心配されていましたが第23回東日本区大会の開催ですが、新型コロナウイルスの影響で、開催を中止させていただく事になりました。4月3日(金)、四谷の東日本区事務所で、常任役員会を開催し中止を判断し、決定させていただきました。同日夜、役員会の議決権者である4人の事業主任並びに7人の部長に電話連絡をさせて頂き、全員から了承を頂きました。そして、メールにて、東日本区役員全員に了解をいただき、本日のお知らせとなりました。年度の総決算である東日本区大会を中止というのは、前代未聞のことですが、猛威を振るうコロナウイルスに対しましては、今のところ対処の最善策もない状態です。各クラブの皆様にかかれましても、例会を始め、各事業やイベントも開催を自粛され、ままならない状況に心が痛みます。今後の運営ですが、東日本区大会時に行われる代議員会は、議案並びに報告書を郵送し、郵便投票にて評決を取りたい

と思います。また、皆様から、ワイズの運営などで、お困りやお気づきの点がございましたら、私に直接連絡頂きたいと思っております。〔携帯電話 090-8372-0306〕また、早期よりこの大会に登録いただいた方には、今後順次こちらから連絡をさせていただきます。登録料などにキャンセル料が掛からないよう、対応させていただきますので、ご了承ください。いずれにしても、日々刻々とコロナウイルスの関係で情勢が変化しています。皆様もこの国難といわれるコロナウイルスに健康を害することなく注意し、来年度以降の活動はなかなか見えずらくはなっていますが、気持ちを強く持ち、ワイズの団結力で明るい陽射しが差してくることを願いましょう。ワイズメンとして生きることは、いつも連帯と協調の中、私たちのモットー、「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」を持ち続けることです。東日本区大会で、北海道行きは、中止となりましたが、いつかまた十勝で、何らかのお会いできる機会は必ず訪れます。その時こそ、また笑顔で再開できます様、心からお待ちしています。



Change! 2022 推進委員会委員長
栗本 治郎

東日本区は、東西日本区に分かれた1997年には会員数は1,246名でした。しかし、22年が経過し2019年7月時点では849名に減少しました。このような状況に歯止めをかけ、活発なワイズ活動を継続するため、私たち一人ひとりが知恵を出し合い、現状を打開して会員増強に新たな取り組みが必要と考えます。

Change! 推進委員会では、昨年アンケートを実施いたしました。

アンケートの結果は、

1. 会員がワイズに求めるもの→奉仕90%、社交50%、研鑽40%、居場所29%、ステータス9%
2. 今のままでワイズの将来はどうか→衰退する67%
3. ワイズの存続→残したい83%
4. 将来的に期待するクラブ像→各クラブの多様化75%
5. ワイズの諸活動、行事にキリスト教の儀式(聖句朗読・祈禱・讃美歌)が必要と思いますか→必要と思う35%、思わない31%、どちらでもない34%

このアンケートの結果やChange! 2022ニュースの成功例等の寄稿文を参考にChange! 2022推進委員会で検討を重ね、新しいクラブ像として『Change! 2022アクションプラン』を提唱いたします。

ワイズの抱える課題

- 会員の減少
 - 会員の高齢化
 - 知名度の低さ
 - 金銭負担
- 勧誘の難しさ
- 違和感のある例会プログラム
 - 楽しくない・魅力ない例会
 - 魅力あるCS活動不足

Change! 2022アクションプランの提唱

1. 地域に根ざしたワイズ独自の魅力あるCS活動。地域イベントへの参加や他団体との協力。非会員を巻き込んだ事業の展開。YMCAとの協働事業。法人化。→地域での知名度の向上
(コンサートの開催、チャリティラン、歌声広場、障がい者支援事業、青少年事業など...)
2. FacebookなどのSNSを活用してのワイズの外向きの情報発信。SNS講習会の開催。→ワイズの知名度の向上
Change!2022ニュースで会員勧誘のヒント等の情報の紹介。ホームページ、クラブ自己紹介パンフレットの活用。QRコードの活用)
3. 各種会合のキリスト教の儀式を見直し、全ての人が入りやすいクラブ運営、違和感のないプログラム、入りたくなるワイズを!
(区大会、部大会、などの各種会合のプログラムの見直し。クラブ内のことは、クラブの裁量に任せる。)
4. 5名以上の新クラブの奨励
奉仕・社交・研鑽・居場所・ステータスなどを満たせるクラブ。若い人を引き付けるプログラム。
(新入会員の会費の軽減。非会員のイベント・奉仕事業への奉仕の手伝い者として参加要請・各種例会への誘い。リーダーOB/OGとの例会・イベントでの繋がり。趣味の仲間や同業者のクラブ)

Change! 2022 目標会員数

	849名	147%						1,246名
会員数	2019.7	2020.1	2020.7	2021.1	2021.7	2022.1	2022.7	2022.12
	849名	900名	950名	1,000名	1,060名	1,120名	1,180名	1,246名
新クラブ数		1クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ	2クラブ